

当初予算のポイント！

1. 生涯にわたって健康で安心・安全に暮らせるまち なかやま

(1) 安心できる健康・福祉・子育て応援のまちづくり

- 子育て支援医療費の無料化は小学校3年生までの入院・通院と小学校4年生から中学生までの入院に拡充。
- 中山ひまわり荘（中山福祉会）に対し介護基盤緊急整備補助金などを交付し、30床の増床を行うための工事を支援。

(2) 安全で自然にやさしい快適な生活環境づくり

- 住宅用太陽光発電システム設置に対し、補助件数を拡大して支援。
- 夏場を中心に大量発生しているヤブ蚊対策として専用薬剤の購入への補助を追加。
- 将来の消防署出張所設置と消防施設の計画的整備に向け、新たに「中山町消防施設等整備基金」を設置。

2. 交流を基盤に若者もいきいき定住するまち なかやま

(1) 定住と交流を生み出す生活基盤づくり

- 両国橋架替えに併せ町道元町新田町線の冠水対策事業を行うほか、主要地方道天童寒河江線交差点改良工事への工事費負担など、県事業に対応しながら道路環境整備を行う。
- 中山町と山形市との間での新たな交通機関の設定に向け、調査・検討を行う。

(2) 豊かで活力に満ちた産業づくり

- ホームベーカリー購入補助金を継続。
- 中山町商工会が実施するプレミアム付共通商品券発行事業に対してプレミアム分全額を助成。
- 果実の販路拡大を図るためのPR活動を関西中京エリア、関東エリア、仙台エリアで実施。
- 果樹振興事業として、収益性の高い優良品種への改植等に対する助成を行う。

3. みんなの絆で築くわたしのふるさと なかやま

(1) 人が輝く教育・文化・スポーツのまちづくり

- 町立図書館をオープンし、図書を中心とした情報媒体を提供する。また、開館記念事業を行うほか、乳児に絵本を贈るブックスタート事業を行うなどの読書の推進を図る。
- 中山中学校建設は建設検討委員会を設置し、基本設計を行うとともに「中山中学校整備基金積立金」の積み増しを行い、平成26年度の建設着工に向け着実な事業推進に努める。
- 学校教育に関する専門的指導を行う指導主事を新たに事務局に配置するとともに、民間企業から派遣される外国語指導助手を配置。
- 放課後児童の安全な活動拠点となる「まどか園」「子ども園」「たかとりクラブ」の充実を図る。

(2) みんなで進める協働によるまちづくり

- 地域コミュニティの絆を強めるため、コミュニティ活性化計画を策定する。
- 広報紙やホームページでの情報発信をさらに充実させるとともに、町民からまちづくりに対する意見等を寄せていただくための広聴機能の拡充を図る。

「ふれあいと絆 緑豊かな 輝くふるさと なかやま」の実現へ向けて

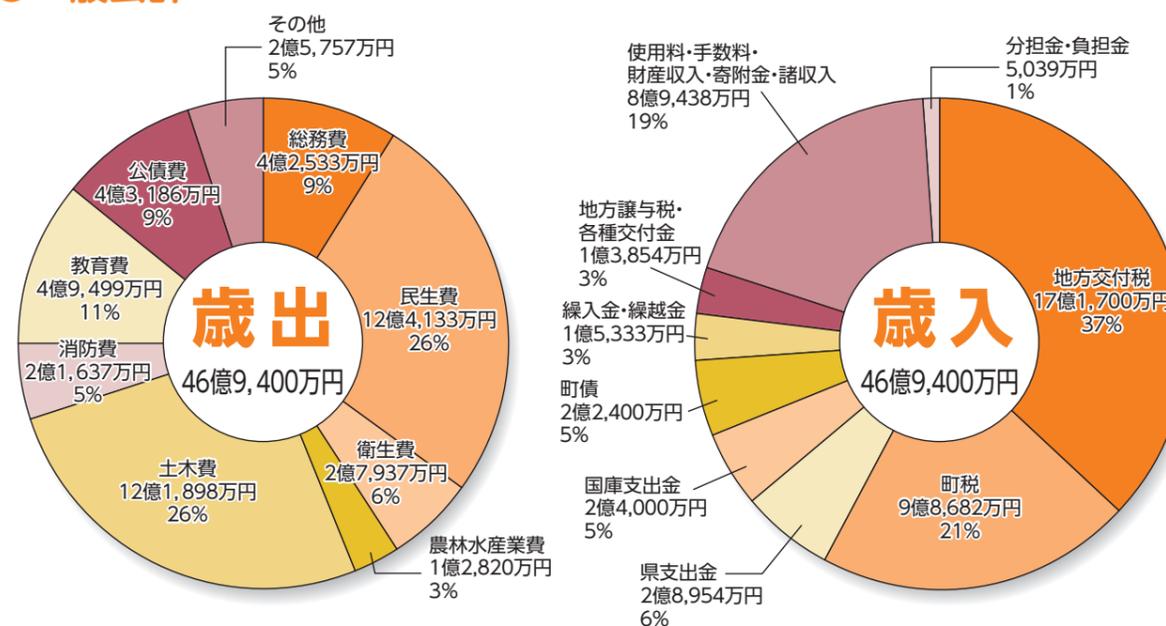
平成24年度 当初予算成立

平成24年度当初予算が3月に開催された町議会定例会で審議され可決されました（3月定例会の詳細は8～14ページをご覧ください）。一般会計の予算総額は46億9,400万円となり、前年度当初予算と比較して1億5,700万円、率にして3.5%の増となりました。

当初予算は「第5次中山町行政改革大綱及び同実施計画」に基づき徹底した経費の節減と事務の効率化を図りながら、「第5次中山町総合計画」を着実に推進し、まちの将来像である「ふれあいと絆 緑豊かな 輝くふるさと なかやま」の実現が図られるよう、計画的な事業実施に努めることとしました。

また、歳入は経済情勢や国・県の予算編成の動向も注視しながら適切な財源の確保に努め、歳出は費用対効果を再点検し、一層の効率化と経費削減を図ることとしました。

●一般会計



●5つの特別会計の予算

		前年比
国民健康保険	12億8,750万円	(+ 4.8%)
後期高齢者医療	1億1,544万円	(+ 7.5%)
介護保険	10億1,864万円	(+ 5.3%)
農業集落排水	7,858万円	(- 0.6%)
公共下水道事業	4億4,868万円	(- 1.3%)